

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和7年3月10日

事業所名 医療法人平谷こども発達クリニック社事業所はぐくみ

保護者等数(児童数)24 回収数 24 割合 100 %

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24				
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	23	1			専門性のある研修に参加し、また、事業所内での研修を重ねている。 職員の配置数は指定基準を上回っている。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	22	2			2階へのスロープは設置されていないが、玄関はスロープになっていて手すりも設置している。階段にも手すりを設置している。
適切な 支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	24				
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	22	2			毎月のプログラムは提示してる。 長期休暇も含め固定化しないように工夫している。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	10	8	・まだ日が浅いのでわからない ・児童クラブを利用していないので分かりません ・小中高と年齢関係なく関わる時間があっていいと思います ・わからない	近くに「社南児童クラブあさかぜ」があり、長期休業中、近くの公園で出あった時は一緒に遊ぶこともある。
保護者	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24				
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	24				
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24				
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	12	6	・保護者会等の参加をした事がないので分かりません ・わからない	要望があれば父母会の支援や保護者会の開催や支援を行っていく。

への説明等	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20	4			法人で第三者委員会を設けている。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23	1			
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	21	3			年2回の会報を発行して保護者に配布している。自己評価や活動については事業所内に掲示したり、法人のHPで発信したりしている。
	14	個人情報に十分注意しているか	24				
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	21	3			各マニュアルを策定している。契約時に説明を行っている。変更点があれば適宜説明を行う。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	5			事業所では定期的に職員対象の研修や訓練を行っている。利用者を対象として避難訓練も行った。その様子は会報に記載している。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	18	5	1	・行ってしまうと楽しく過ごしている	常に利用者が楽しめる活動を考えている。
	18	事業所の支援に満足しているか	23	1		・長期休暇中は受入が8時30分からだと助かります	検討してみます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。